

## コーポレート・ガバナンス・システム（CGS）研究会（第2期）の再開について（案）

令和2年5月  
経済産業政策局  
産業組織課

**1. 本研究会の再開趣旨・目的**

2013年の「日本再興戦略」においてコーポレートガバナンス改革が我が国成長戦略の重要アジェンダとして位置づけられて以降、社外取締役の人数・割合が急速に増加しているものの、関係者からは、形式的な導入にとどまっているのではないかと、役割認識が明確になっていないのではないかと、企業価値向上に必ずしも貢献できていないのではないかとといった指摘もある。

コーポレートガバナンス改革を形式から実質へと深化させるためには、その中核となる社外取締役がより実質的な役割を果たし、その機能を発揮することが重要であるとの問題意識から、経済産業省では、昨年11月から本年1月にかけて、社外取締役の活動実態や課題を把握するため、東証一部・二部上場企業の全社外取締役を対象にアンケート調査を実施したほか、並行して、企業価値向上のための取組を実践されている社外取締役の役割認識や具体的な行動をモデル事例として収集するため、42名の社外取締役に対してインタビューを実施してきたところ。

これらの調査結果を踏まえ、社外取締役の役割認識や心構え、企業への関与の在り方についてのベストプラクティスを整理し、広く展開するため、本年夏頃を目処として、新たに「社外取締役の在り方に関する実務指針（仮称）」の策定を目指しているところ。

この実務指針の策定に向けて、中長期の企業価値の向上に向けた社外取締役の役割認識や心構え、期待される役割を果たすための具体的な行動の在り方やこれを支えるサポート体制の在り方について検討するため、本研究会を再開する。

**2. 主要な検討項目**

- 社外取締役としての役割認識・心構え
- 社外取締役としての具体的な行動の在り方
- 社外取締役が実質的な役割を果たすために必要な企業側のサポート体制

**3. 本研究会の進め方**

下記日時で研究会を開催し、上記2. について検討し、とりまとめを行う。これに基づき、本年夏頃を目処として、経済産業省名にて「社外取締役の在り方に関する実務指針（仮称）」を策定・公表することを目指す。

- 1回(17回※) 5月13日(水) 15:00~17:00 (30分程度延長可能性あり)
  - 2回(18回※) 6月9日(火) 10:00~12:00 (30分程度延長可能性あり)
  - 予備日 6月24日(水) 13:00~15:00 (30分程度延長可能性あり)
- ※CGS研究会（第2期）として通算の回数。

**4. 本研究会及び配付資料等の公開について**

- 研究会は、原則として非公開で行う。
- 配付資料の取扱いは、原則公開とし、委員等からの提出資料については、事務局が座長及び資料提出者と相談して決定する。
- 研究会の議事概要は、事務局が作成し、後日HP上に公開する。

以上